

HAPPYな社会を目指して ～探究することの難しさと楽しさ～

2019年4月から、私たち1年生は「Hino・Quest」(総合的な探究の時間)に取り組んできました。与えられた大テーマは「**Happy project 2019 越前市を中心とした地域活性化のプラン立案と実践**」です。東高校生が毎日足を運んでいる越前市の課題を見つけ、その解決策を立案し、実践することを目指しています。

今回の1年間の活動を通して、**あらためて越前市について**知ることができました。行政や企業・団体の活動を知り、隠れた魅力を知りました。そして、探究していくことの苦しさを実感しました。途中で思考が行き詰まる、どうしていいかわからない、知識が足りない、**多面的な視点を持つ**といわれるが、いざとなると広がらない。先生や仲間に相談しながら、また、フィールドワーク先の方々にアドバイスをもらいながら、なんとか、自分なりのプランを立てました。

今回、各自のプランを「Happy 作戦集」として、まとめてみました。分類はSDGsの視点を取り入れました。Happyになることは、**持続可能な社会の実現**に通じると考えています。まだまだ、作戦に満たないものですが、次年度はこれらの**作戦の実践**を目指しています。自分たちの活動で少しでも地域に貢献できればと思います。

最後になりましたが、フィールドワークを快く受け入れてくださった地域の方々、中間報告会に参加していただきアドバイスをくださった方をはじめとする企業や団体・大学の先生方に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。探究はまだ続きます。これからもよろしくお願いいたします。

